

伝えたい
残したい
わがまちの
誇り



ふるさと の情景

VOLUME

20

千代田地区
(松林寺の除夜の鐘)



大 晦日の夜、全国各地の寺院で
は除夜の鐘の音が響き渡り
ます。午前0時をはさんで、鐘を
108回つく理由は定かではありま
せんが、人間の煩惱の数や季節の数
にちなむなどといわれています。

松 ケ丘中町にある松林寺の梵鐘
は戦時中に供出されました
が、昭和48年に再整備されました。
大晦日の夜には鐘の音が厳かに響く
なか多くの参拝者が訪れます。また、
境内では世話人などにより甘酒や年
越し蕎麦が振る舞われるなど、寒い
なかにも大勢の人のぬくもりを感じ
られる情緒ある風景が広がります。

年 末の風
物詩と
して親しまれ
る除夜の鐘。
鐘の響きを聞
きながら一年
を振り返って
みてはいかが
でしょうか。



鐘を供出した昭和18年の法要の様子



大晦日の夜は、住職に続
き私たち世話人が鐘をつい
た後、誰でも鐘をつけるこ
ともあって多くの人でにぎ
わいます。時代を経て環境
が変わっても人々がつなが
り憩う寺であり続けること
に、感慨をおぼえます。

ふるさとのひと

西尾 耕作さん

松林寺は幼いころの遊び
場だった思い出の場所で
す。昔、滝谷駅から寺まで
田畑や竹やぶだった一帯が
国道や住宅地になり、松林
が墓地になるなどで景色は
大きく変わりました。



1 昨年の大晦日に住職が除夜の鐘をつきはじめて様子 2 一年の締めくくりに多くの人が集う 3 鐘の前には鏡餅などをお供え 4 境内では甘酒のふるまいも

※松林寺へは滝谷駅より徒歩7分。